マイクロフォン

「新青年」一九二六年一一月

国枝史郎

青空文庫

惣太物をはじめとして甲賀氏は近来の作にユーモアを織り込もうとし然うして織り込んで居りますが、私見を以てすればこのユーモアまだまだ洗練されて居りません。甲賀氏従来の特色は非常に複雑な筋を立て夫れを明快に率直に解剖するにあったようですが、その明快と率直とが洗練されていないユーモアのため濁されて居るように思われます。でユーモアをもっと洗練して貰うか乃至は一時引っ込ませて貰い度いのが私の希望であります。切角の甲賀氏の作がその洗練されていないユーモアのために安手に感じられるということは如何にも残念です。敢て苦言を呈します。

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集　全一巻」作品社
　　2005（平成17）年9月15日第1刷発行
底本の親本：「新青年」
　　1926（大正15）年11月
初出：「新青年」
　　1926（大正15）年11月
入力：門田裕志
校正：Juki
2014年4月10日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

マイクロフォン

「新青年」一九二六年一一月

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　国枝史郎
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/